

平成30年度 学力向上を図るための全体計画

武蔵村山市立第九小学校

関係法規等	学校教育目標	期待される児童像
<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領 ○武蔵村山市教育委員会教育目標及び基本方針 ○武蔵村山市立学校の学力向上策 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学び合う子 ○つながり、支え合う子 ○たくましい子 	<ul style="list-style-type: none"> ◎互いの思いや考えを大切にし、学びを楽しむ子 ○積極的に仲間や社会に関わり、共に成長する子 ○心身ともに健康で、前向きな意欲をもつ子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）
<p>◎魅力ある授業 問題解決的な学習や主体的な学び合いを重視するとともに、思考力・判断力・表現力を含む言語活動の充実を図り、児童の学びが深まり、学ぶことを楽しめる授業を創造する。</p> <p>徹底した授業研究を中心とする校内研究の実践により授業の質的向上を図り、児童の学びの深まりを追求する。同時に児童一人一人の基礎的・基本的な知識・技能の確立を図る。</p>

指導内容	小学校における「定着させたい学力」	重点
各教科	知識や技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力を身に付けさせるため、各教科で作成した評価基準の達成を目指す。	学力調査の徹底した分析に基づくPDCAサイクル化を推進する。 問題解決的な学習の各過程に主要な、学び合い場面を設定することにより、思考力・判断力・表現力等を育成する。
特別の教科 道徳	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>「学びの深まり」～夢中になって学ぶ子供～</p> <p>※学力が向上する子供の姿</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童一人一人に、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、学ぶ意欲を高め学習習慣を身に付けさせ、主体的に学習する態度を養う ○ 学習問題を解決するために、効果的な言語活動を設定し、思考力・判断力・表現力等を育む。 	「価値葛藤の場」を意図的・計画的に位置付け、葛藤を克服していく過程を設定することにより、道徳的実践力を高める。
総合的な学習の時間		学習問題を捉えさせ、解決する過程を通じて、問題発見・解決力を身に付けさせる。
特別活動		学級活動の充実を図り学力を高めるとともに学校行事等に児童の発意発想を生かすことにより、主体的・自治的態度を育成する。
英語活動		問題解決的な学習を展開し、言語活動を効果的に位置付けることにより、思考力・判断力・表現力等を育成しコミュニケーション能力を育成する。
キャリア教育		各教科等の指導を通して、自己評価・相互評価場面を設定し、自己肯定感を育むとともに、価値葛藤の場面を意図的に設定し、意思決定能力を育成する。
生活指導		人権教育や道徳教育との関連を明確にし、人権に関わる問題やいじめや暴力についての生活指導の徹底を図る。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究や研修の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○「九小版基本的指導過程」の共通実践を行う。 ○問題解決的な学習に学び合い活動・体験的活動などの主体的・対話的で深い学びを位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業時数を十分に確保し各教科の指導に当たる。 ○朝学習に東京ベシックを活用し、基礎・基本の定着を図る。 ○朝読書を年間を通じて実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決的な学習を進めるために「九小版基本的指導過程」を策定し、全学級で全教科の共通実践を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の中で、指導と評価の一体化を図り基礎・基本の確かな学力の定着と伸長を図る。 ○授業の中で振り返る時間を確保し、児童に自己評価をさせることを習慣化する 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や地域の方が来校する機会（授業参観・保護者会・運動会・学芸会等）を設け学校の教育活動を広く理解してもらう。 ○個人面談日を設け、保護者との連携を図る。
授業改善推進のために全校共通で取り組む事項				
学習が遅れがちな生徒への支援	授業規律・学習ルールの確立	読書習慣の形成	学習意欲を高める方策と評価	家庭学習の習慣化
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的事項の定着を図るために、東京ベシックを活用する。 ○TTの指導や習熟度別指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「九小版基本的指導過程」の共通実践の徹底を図る。 ○「九小版学習の流れ」を教室前面に掲示し、児童に学習の流れを示し、全教職員が共通実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○火曜日は下学年を対象にボランティアによる読み聞かせを実施する。 ○週1回水曜日の朝に読書タイムを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教科に渡って問題解決的な学習を実践し、思考力・判断力・表現力等を高める。 ○日々の授業で、児童の発言や活動に対して即時評価をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページや学年だより、学級通信等を通して、児童の学習について情報を発信する。 ○「家庭学習の手引き」を策定し、学習習慣と読書習慣の確立を目指す。